

万引き防止を呼び掛ける紙芝居

7/8

・・・柳原児童センターにて上演・・・

次世代を担う地域の児童向けに（特に1年生約50人対象）7月8日（月）に万引き防止の紙芝居「みんなのやくそく」を上演。

この紙芝居は少年の非行防止や健全育成に取り組んでいる長野中央少年警察ボランティア協会の製作によるもので、今回は、柳原地区住民自治協議会との共催で教育環境部会にも関わっていただき盛り上がった。

万引きがなぜいけないのかを、絵と言葉で目の前でわかりやすく表現した。内容では、下校途中に軽い気持ちで万引きをした児童が警察官から事情聴取を受けたり、親から諭されて改心していくストーリー。子どもたちは真剣な表情で鑑賞した後、長野中央警察署の担当官から「万引き=窃盗の罪」になることや夏休みを前にして防犯に備えた注意などの講話もあり、締め括った。



・不審者に気を付けよう・万引き、けんか、いじめの防止・ルールを守って楽しく遊びましょう などの注意を促す啓発チラシも配布しました。

少年警察ボランティア協会 柳原支部 小坂 武範

「障がいのある人と地域の中で共に暮らしていくために」

「障がい」ってなに？「障がい」を理解するってどういうこと？ 「障がい」と「健常」のちがいは？ 「障がい」を持つ人の、声を聴こう！

5/11

5月11日、人権同和教育促進協議会役員研修は、花工房福祉会エコーンファミリーを見学し、ハーモニー桃の郷を会場にコーディネーターの進行で障がい当事者の話を聞いた。障がいを持つ人と接することはあっても、その障がいについて話題にすることはほとんどない。障がいを持つ方から自身の障がいについてや障がいを受け入れるまでの心の動きなど直接話を聞くことにより役員の方に響くものがあったにちがいない。

11月25日の「人権を考える住民のつどい」では、今回の役員研修と同じように障がい当事者と対面して障がいについて聴くこと、地域の中でともに暮らすことについて考えていきたい。

- 花工房福祉会エコーンファミリー（障がい児を持つ親の会が始めた共同作業所が原点とする知的障害者通所施設）。エコーンファミリー最大の特徴は、対面販売。「利用者の笑顔こそ、最大の財産」と語る小池施設長の方針が、次々と地域の人たちを巻き込んで大きく花開きつつある。
- ハーモニー桃の郷（身体・知的・精神の障がいのある人たちの安心した地域生活を支えるために、一人ひとりの障がいや暮らしに合わせ、身の回りの生活支援、就労支援、日中活動支援、相談支援などを行う総合支援施設）。



傾聴

6/29・30



6月29日・30日の2日間、長野市社会福祉協議会と共催で行なった「傾聴の基本を学ぶ」は、人の話を聴くとは、どういうこと？ という基本を理解するための講座でした。人と話す時の基本姿勢やストローク（言葉や身振りで相手に働きかけること）を学ぶことができたので、生活の中で実践したいと思います。

「傾聴」という言葉は、人の話を聴いてあげるといような感じや平坦な気持ち（自分の感情を出さずに）で聴くというイメージで抵抗がありました。でも、講座を通して傾聴に対するイメージが変わりました。なんか楽しいかも……何より講師の末松先生の人柄がとてもステキでした。

ふくし相談会がスタートしました

7/30

原田自治協会長、宮沢支所長、福祉関係機関の関係者全員にお集まりいただき、開設セレモニーを行い、「ふくし相談会」がスタートしました。



長野市民新聞提供

家族を介護されている方でお困りのことや疑問に思うことはありませんか？あるいは、ちょっと疲れてしまった、愚痴を誰かに聞いてほしいでも構いません。

公的なサービスを受けたい方、どんなサービスが受けられるのか？介護保険について知りたいなど、家族の健康や言動にちょっと心配なことがあるなど、やさしい相談からむずかしい相談まで、ネットワークの力でつないでいって、息の長い、ひとりでも多くの人のお役に立てる相談会でありたいと思います。

毎月第3火曜日 10:00～12:00 開催しています。地区内の施設の方、長野市包括センターの方に交代で来てもらい相談に乗っていただけます。まずは地域ワーカーまでお気軽に声をかけてください。

認知症サポーター養成講座

7/31

若槻地区認知症キャラバンメイトの方に認知症とはどんな症状なのか、どのように接すればいいのかなどの人形劇を見ました。その後、中島医院の先生に「医療の面から認知症とどう関わるのか」という題で、認知症には様々な症状があり、今はお薬で改善できることもあるそうです。



認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になることです。



ご協力お願いします。

- ◆柳原ものづくりボランティア 住民自治で使用している封筒は全てボランティアの皆さんに作って頂いています。広告の裏が白い紙を集めています。
- ◆ベルマーク エプソン、キヤノン、ブラザーの使用済インクカートリッジ、トナーカートリッジはベルマークとして回収しています。

ありがとうございました。

- ◆献血 ●受付員数：56名 ●次回は11月21日(木)です。
- ◆柳原小学校PTA資源回収 子ども達のために役立ちます。

◆自治協だよりに広告を出してみませんか！

広報紙「柳原住民自治協議会だより」に掲載する広告を募集することになりました。お気軽にお問い合わせください。広告代は当協議会の運営費として活用させていただきます。また情報紙「いきいき わがまち やなぎはら」への掲載も募集しています。

編集後記 球根をいただいたカンナの花が今を盛りに咲いています。ときめく夢。滾る心。人と人が繋がって何か新しいものが生まれる瞬間。 [あ]

柳原地区住民自治協議会
 長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365
 いきいき わがまち やなぎはら 検索
 E-mail : yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp
 お気軽にお立ち寄りください。

柳原地区住民自治協議会だより
 平成25年9月15日発行 発行責任者 住民自治協議会 会長 原田 篤穂 第17号

成人式

8/15

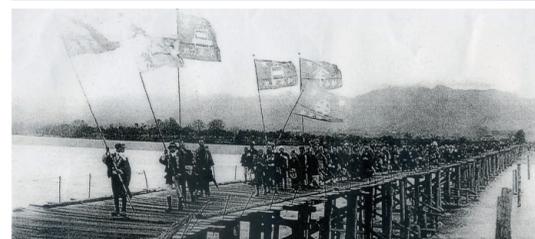


ワイシャツ姿、ゆかた姿の新成人42名（対象者85名）の参加で行われました。来賓の方々の祝辞を受け新成人代表の言葉がありました。

最後に記念品贈呈、そして写真撮影の後、祝賀会「友達と語る会」が催され恩師を囲み、久しぶりに会えた友達との喜びに話が盛り上がりました。成人式を迎えて、自覚して行動しよう！公務員になるぞ！夢に向かって頑張っていきたい！等々豊を語らい、あっという間に時間は過ぎてしまいました。



*** 写真に見る柳原の今昔 ***



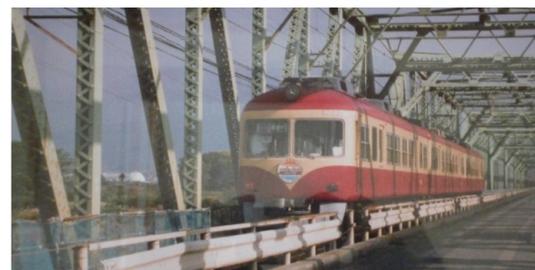
板橋の写真（大正後期）。村山の板橋を渡って長野の城山公園へ先頭の男衆数人が大きな旗を揚げ、後に何百人もの女工さんが続いている。



新旧の村山橋が共存している貴重な写真



前の橋の写真（昭和初期）。村山橋の護岸工事千曲川左岸の北八幡川暗から村山橋間は流れの中心が堤防に接近し、川底も深く常に崩壊の危険があった。完成した工事を私服の役人が視察している。杭を打ち、詰め石を敷き、地固めをして護岸に蛇籠を並べている。村山の役員も写っている。



以前の村山橋

“昔の写真を集めています”とお願いして沢山の写真が集まりました。今年、成人式の方にとっては20年前も、とっても昔のことで知らない柳原が沢山あります。そんな写真も集めています。お気軽に事務局までお持ちください。

地域をつくるのはあなた

「自分の住む柳原のことを自分たちで考えて、自分たちでまちづくりをする」まちづくり委員会の活動を開始しました！常会長・組長さんにアンケートを実施しました。現在、地域の課題をみつける作業をしています。柳原のまちをこんなふうにしたい、こんなことがしてみたい、あったらいいと思うこと、困っていることなど、みなさんのご意見を聞かせてください。